

一般質問

質問者

小 滝 芳 江 (フォーラム桐生)
 新 井 達 夫 (桐 両 クラ ブ)
 渡 辺 修 (無 会 派)
 森 山 享 大 (創 志 会)
 佐 藤 幸 雄 (桐 新 会)
 西 牧 秀 乘 (無 会 派)
 人 見 武 男 (創 志 会)
 伏 木 康 雄 (無 会 派)
 北 川 久 人 (創 志 会)
 福 島 賢 一 (桐 新 会)
 山之内 肇 (公 明 クラ ブ)
 岡 部 純 朗 (桐 両 クラ ブ)
 井 田 泰 彦 (無 会 派)
 飯 島 英 規 (無 会 派)

12月17日(水)・18日(木)の2日間にわたり、14人の議員が一般質問を行い、市政に関する問題について、市当局の見解を求めました。

※氏名の後のカッコ内は所属党派名(無会派は、会派に属さない議員)

地域おこし協力隊の活用

小滝 芳江(フォーラム桐生)

質問 黒保根地域における移住者の受け入れ促進、(黒保根地域の米の収穫)



農作業支援、耕作放棄地の再生等、様々な場面での地域おこし協力隊の活用についてどのように考えるか。

答弁 地域行事や各種事業において活用は可能と思われるが、現状では既存組織等により実施されており活用には至っていない。

しかし、この地域おこし協力隊の制度を活用することにより、人口減少対策にもつながることから、今後先進自治体の事例等を参考に地域に適した活用ができるかどうか調査研究を行っていききたい。

ごみ収集について

新井 達夫(桐両クラブ)

質問 教育施設の可燃物及び不燃物の収集を民間事業者に委託した理由は。



(ごみ収集の様子)

答弁 教育施設を含む市有施設から出るごみについては、将来的には各施設の責任のもとで処理を行えるように調整しているところであり、その移行までの暫定的な措置として今年度から民間事業者に委託をした。

質問 不燃物の収集回数の減少により保管中に子供たちが触れたりして危険と

思われるが。

答弁 各施設で安全な保管場所を確保するなど適正な管理について関係部署と協議したいと考えている。

後期高齢者医療制度

渡辺 修(無会派)

質問 国に対し、国庫支出の増額を要求すると同時に同制度を老人保険制度に戻すべきと考えるが、市は今後の課題をどう捉えているか。

答弁 国レベルでは、保険料・患者負担・公費負担の組み合わせの改善、世代間・世代内の負担の公平の確保や保険給付費の伸びの適正化などを挙げている。少子高齢化や人口減少などの構造的問題を抱える厳し

い状況であるが、群馬県後期高齢者医療広域連合とともに有効な手立てを模索しながら将来にわたり安定的な運営に努めていきたい。

(市の医療保険課)



産後母子ケアモデル事業

森山 享大(創志会)

質問 出産後、母子が助産所等へ宿泊し、経験豊富な助産師に指導を受けたり

預けたりしながら、とかく孤立しがちな母親の育児不安の早期解消等を図ること

で全国的に注目されつつある産後母子ショートステイサービスの導入について市の見解は。

答弁 本事業は、育児不安を解消し、さらには児童虐待の予防に有効な施策と理解している。当市で実施

する際は、医師会及び助産師会との協議が必要であるが、先進地の情報を収集し関係機関との連携を図りながら研究していきたい。

(桐生市保健福祉会館)



周辺道路整備について

佐藤 幸雄（桐新会）

質問 武井工業団地西地区工場適地の事業化において、県道梨木香林線の信号「野」から新里支所入口までの区間を子供たちの安全な通学路として確保するため、歩道を全面的かつ早期に拡張及び整備するよう地元から要望が出ており、市も県に要望していると聞いています。現在の状況は。

答弁 拡幅整備の要望を県に行ってきた結果、「野」交差点から新里支所方面へ

（信号「野」交差点付近）



向かう県道について、平成二十七年年度から詳細設計に入りたいとの方針を伺っているので順次整備されるものと考えています。

自治会振興のための条例

伏木 康雄（無党派）

質問 自治会振興のための条例の必要性について。（桐生市役所）

答弁 条例化は、自治会をはじめとする地域住民を主体とする地域活動や地域自治の必要性・重要性を確認し根拠付けるとともに、市民の意識統一を図る意味において有効手段の一つである。また結果的に、自治会への支援の正当性を担保することにも繋がる。

今後、当市における住民主体のまちづくりに向けてどのような条例や制度が必要になるのか、区長連絡協議会をはじめとする自治会や市民と議論する中で答えを導き出していきたい。

みどり市との合併

西牧 秀乗（無党派）

質問 両市長の会談の要旨について。

答弁 みどり市長から（両市長による会見の様子）



「桐生・みどり新市建設研究会」設置の提案があった。研究会設置により、合併に向けた議論を進めるスタートラインに立てたわけであり、大きな前進だととらえている。

質問 受託事業の負担金の見直しについては。

答弁 平成十六年度の見直しにより負担金割合の適正化を図った。現時点では応分の負担金をいただいていると認識している。

質問 研究会の担当部署については。

答弁 今後検討したい。

常設物産館の設置について

北川 久人（創志会）

質問 有鄰館内での常設物産館の設置について。

答弁 現在、有鄰館では物品販売は行なっておらず、パンフレット等により周辺の施設や店舗を紹介し、入館者のニーズに対応している。今後、有鄰館に携わる多くの方々の意見を拝聴しながら常設物産館の設置について研究していきたい。

質問 重伝建地区内やその周辺に物産館を設置することについて。



（有鄰館）

答弁 桐生観光協会と連携を図り、施設整備や人員、運営方法、維持管理に要する必要経費など、総合的に調査研究していきたい。

ごみ減量化対策

人見 武男（創志会）

質問 当市のごみ排出量の現状については。

答弁 当市の一人一日当たりのごみ排出量は千二百九グラムで、県内十二市中ワースト一位である。その約三分の二を占める生活系ごみの量は平均的な水準だが、事業系ごみは県内で最も多い状況であり、現在調査・研究中である。

またリサイクル率は十二市中ワースト二位だが、当市はごみ焼却時に発生する



（ごみ減量・分別を視察）

熱エネルギーを回収・利用するサーマルリサイクルを行っている。仮にこれを算入すると当市のリサイクル率は最も高いものとなる。

運動公園周辺道路整備

福島 賢一（桐新会）

質問 平成二十三年八月二十四日に相生町三丁目町会から市道一―五十号線、通称二本松団地道路に通じる道路新設の陳情書が市長に出され、かつ桐新会としても二十六年事業要望書に提起させていただいているが、現状の取り組みはどのようなになっているのか。

答弁 相生町三丁目町会から提出された道路新設の陳情書については、現地調査を行なう中で、基本計画

として図面上で概略の道路計画の線形を入れ、権利調査及び道路計画用地面積を算出し、概算事業費を算定している状況である。

（二本松団地道路周辺）



発達障がい児(者)への支援

山之内 肇(公明クラブ)

質問 発達障がいに対する相談、支援拠点として支援センターを創設することによる支援強化を改めて提案要望するが、見解は。

答弁 子育て日本一を掲げる本市においては、子供を生み、安心して育てる環境を整備するためにも、発達障がい児(者)の相談、支援体制を構築することは、重要であると認識している。支援の中心となる課や事業展開について、庁内での

(市役所内託児コーナー)



協議と共に、療育施設等専門機関や群馬県発達障害者支援センターと連携し、支援拠点創設の実現に向け具体的に検討している。

織都桐生への観光客誘致

岡部 純朗(桐岡クラブ)

質問 世界遺産登録された富岡製糸場と絹産業遺産(関連商品パンフレット)



群の観光客を桐生市へ誘致するには。

答弁 今年六月より、はとバスなどの旅行社から「西の富岡、東の桐生、群馬シルクロードの旅」などと銘打った商品が四十本以上発売されており、どれも好評である。また団体旅行による観光入り込み客数も、確実に増えている。

観光客にとっては、県境や自治体の境界は関係ないので、市内観光と富岡製糸場や有名温泉地等を周遊するモデルコースを紹介するなど広域観光に努めている。

指定ごみ袋の相互利用

井田 泰彦(無党派)

質問 みどり市議会で指定ごみ袋の価格統一に関する一般質問があったが、ごみ袋統一について当市の考えは。

答弁 統一ごみ袋を使用した場合、市境などの場所によっては、区域外のごみの置き去りも懸念されるので、今後みどり市から正式に具体的提案を受けた際には、桐生市清掃センター業務連絡協議会において実務的な意見交換を行いたい。

(桐生市の指定ごみ袋)



質問 両市のごみ袋を相互で使えるようにすることで合併の気運も高まると思う。当市から積極的に相互利用の提案をしてはどうか。

答弁 前向きに検討したい。

新市建設研究会を見据えて

飯島 英規(無党派)

質問 本格的な都市間競争の時代を見据え、歴史文



(桐生市役所)

化都市として両市が大きな光を放つためには、これからの子供たちのために、未来志向でいかに創り上げていくべきかの議論をすべきでは。

答弁 みどり市との合併は、両地域が輝きを放つ地域であり続けるため、絶対に成し遂げる必要があるとの思いで取り組んできた。少子高齢化や人口減少など社会環境の変化への対応や国が進める地方中枢拠点都市制度への対応なども含め、今後とも広い視野で協議を進めていきたい。

一般会計の補正予算

○平成26年度桐生市一般会計補正予算(第6号)【専決処分】 **承認**

概要 歳入歳出予算について、歳入歳出それぞれ4,137万3,000円を増額補正して、予算総額を469億2,322万6,000円としたもの。

歳出予算の主な補正内容

●総務費衆議院議員選挙及び最高裁判所裁判官国民審査費 4,137万3,000円の追加
(選挙に係る人件費ほか選挙諸費用)

○平成26年度桐生市一般会計補正予算(第7号) **可決**

概要 歳入歳出予算について、歳入歳出それぞれ2億6,121万8,000円を増額補正して、予算総額を471億8,444万4,000円としたもの。

歳出予算の主な補正内容

- 農林水産業費林業振興費
有害鳥獣捕獲事業……………216万円の増額
(サル囲い込み罠購入費)
- 商工費観光費
観光推進事業……………20万円の増額
(ぐんま「花燃ゆ」プロジェクト推進協議会負担金)
- 消防費災害対策費
地震災害対策事業……………1,566万4,000円の追加
(市役所本庁舎ほか各所改修工事費)

人事案件

市議会は、次の人事案件に異議ない旨回答することに決定しました。

人権擁護委員候補者

田中 洋子氏
(新任)

